“経営に知恵と革新”

令和元年７月１日発行（隔月発行）Vol.747 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2019年７月・８月号

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

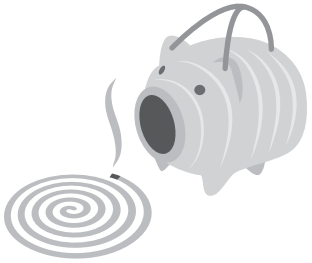
暑中お見舞い申し上げます

会員皆様の益々のご健勝
ご活躍を祈念申し上げます

令和元年　盛夏

一般社団法人 日本経営士会

会長　青木 幸江



副会長	佐藤光子
副会長	加藤健二
専務理事	近藤安弘
常任理事	津田　嵩
常任理事	藤本賢司
東日本ブロック理事	橋本琢磨
中日本ブロック理事	鈴木和男
西日本ブロック理事	塚元啓幸
監事	石井政夫
監事	石黒不二夫
顧問	野々内隆

北海道支部長	溝渕新蔵
東北支部長	山下健二
北関東支部長	菜山一宏
千葉支部長	山田　一
埼玉支部長	小西洋三
東京支部長	鈴木和男
南関東支部長	戸部廣康
中部支部長	梅本泰則
近畿支部長代行	中筋敏雄
中国支部長	金廣利三
四国支部長	塚元啓幸
九州支部長	西尾廣幸
台湾特別支部長	黄　世欽

INDEX

第６５回定時社員総会報告 ・・・・・・・・・2
第５３回経営士全国研究会議京都大会ご案内 ・・・・・・・・・4
理事会通信 ・・・・・・・・・8
事業部・委員会活動
　ＣＳＲ環境事業部 ・・・・・・・・・9
　ＭＰＰ委員会 ・・・・・・・・・10
　経営支援事業部 ・・・・・・・・・12
　広報委員会 ・・・・・・・・・14
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・15
研究会通信　生産研究会 ・・・・・・・・・16
第４９期経営士養成講座・修了 ・・・・・・・・・19
「寄稿」武術と健康に関する話 第 13 回 ・・・・・・・・・20
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・22
会員広場　プロレスと経営 第 14 回 ・・・・・・・・・23
支部活動報告
　東北支部 ・・・・・・・・・24
　北関東支部 ・・・・・・・・・25
　千葉支部 ・・・・・・・・・28
　埼玉支部 ・・・・・・・・・29
　南関東支部 ・・・・・・・・・30
　中部支部 ・・・・・・・・・32
　四国支部 ・・・・・・・・・34
　東京支部 ・・・・・・・・・36
行事・講座・セミナーご案内 ・・・・・・・・・37
支部活動予定 / インフォメーション ・・・・・・・・・38
広告 ・・・・・・・・・39

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
http://www.keieishikai.com

表紙：第 65 回定時社員総会　/　撮影者：青木強志広報委員長

Copyright©2019 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

第65回定時社員総会の報告

本会の第65回定時社員総会は6月21日（金）、東京都千代田区麹町のスクワール麹町3階「華の間」にて開催されました。

佐藤副会長の司会で、開催に先立ち、この一年に故人になられた12名の会員へ黙祷が捧げられ、青木会長の挨拶、総会成立の報告後、所定の議案について下記のとおり、決議及び報告されましたので、お知らせいたします。

記

開催日時　：　令和元年6月21日（金）　15：30 ～ 17：04

開催場所　：　スクワール麹町　3階　華の間
東京都千代田区麹町6－6　電話03－3234－8739

出席理事　：　青木幸江会長、佐藤光子副会長、加藤健二会長、近藤安弘専務理事、
津田嵩業務執行理事、藤本賢司業務執行理事、橋本琢磨ブロック理事、
鈴木和男ブロック理事、塚元啓幸ブロック理事

出席監事　：　石井政夫監事、石黒不二夫監事

会長挨拶及び総会成立要件について：

青木会長の挨拶のあと、青木会長の指名で、近藤専務理事より成立要件について報告があり、定款第20条第1項の規定により、総会成立に必要な構成員の過半数以上の出席を得て、第65回定時社員総会は有効に成立した旨が告げられた。

社員総数　：　社員総数　745名（過半数：373名）
出席社員数　392名
（内訳）
本人出席　68名
委任状出席　154名
書面議決権行使　170名

議長及び議事録署名人の選任について：

定款第18条に基づき、青木会長が議長となり開会を宣言した。

また、定款第22条第2項の規定により議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、出席者は異議なく賛成し、議事録署名人として千葉支部林久雄社員と東京支部川﨑隆夫社員が指名され、両人もこれを承諾した。

議案決議の結果(第一号～第四号)：

第一号議案　平成30年度事業報告に関する件

第二号議案　平成30年度決算承認の件

平成30年度監査報告

青木議長指名で、近藤専務理事から第一号議案の報告事項及び第二号議案の議決事項が議案書に基づき説明された。また石黒監事より監査報告及び公益目的支出計画に関する監査報告が行われた。

審議の結果、青木会長が第二号議案の承認を求めたところ原案どおり、賛成多数で可決された。

第三号議案　令和元年度事業計画に関する件

第四号議案　令和元年度収支予算に関する件

青木議長の指名により、両議案とも近藤専務理事が議案書に基づき報告した。

以上をもって一般社団法人日本経営士会第65回定時社員総会の全議案の審議を終了したので、17時04分議長は閉会を宣言し、加藤副会長が御礼の挨拶をした。

以上

総会終了後、約70名が参加し懇親会が催されました。

青木会長の挨拶に続き、本会顧問野々内隆様から挨拶、乾杯のご発声をいただきました。

その後、近畿支部の参加者より「経営士全国研究会議　京都大会」の熱のこもったPRがあり、鈴木中日本ブロック理事の中締めで、終始和やかに懇親会はお開きになり、第65回定時社員総会は無事終了しました。

日本経営士会と産業能率大学との提携について

産業能率大学の創立者であられる上野陽一先生は、日本経営士会の設立委員・初代人事部会長でもあられました。そのご尽力で日本経営士会は、1951年に当時の通商産業省と経済安定本部の推奨により設立された日本で初めての経営コンサルタント団体です。

令和になり、日本経営士会と産業能率大学は正式に提携いたしました。全国から新しい会員が多く入会する予定です。会員各位にお願いがあります。それぞれの地域にて多くの支援をお願いいたします。本会の第一のテーマは会員増強と会の活性化です。今はこのチャンスを確実に実現するための大切な時期と考えています。

会長をはじめ役員もかつてないフットワークで会員増強を目指しておりますが、また一段新しいステージを成功させるため、前向きなチェレンジと会員各位のサポートが不可欠です。(詳細につきましては後日、お知らせいたします)

私事で恐縮でございますが、必ずや会員各位のお力を合わせれば実現できると確信しております。会員各位のご健勝と益々のご発展を心より祈念しております。

南関東支部(産業能率大学校友会会長)佐藤 富夫

全国研だより

第53回 経営士全国研究会議 京都大会のご案内

1993年 第27回全国研　京都開催

2001年 第35回全国研　橿原開催

2019年　令和元年に第53回全国研

この京の都に満を持して開催

開 催 日

令和元年　9月14日（土）～15日（日）

開催場所

京都駅前　京都タワーホテル
　初日　第1部～第2部

ホテルグランヴィア京都
　初日　第3部　懇親会

京都タワーホテル
　2日目　論文発表　終了会議

主催・問合せ先・申し込み先

一般社団法人　日本経営士会
東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F
TEL：03-3239-0691

◇◆◆ 研究会議論文参考例◆◆◇

- SDGsとビジネスを考える
- 観光と生活の共生
- 伝統と革新の共生
- 都市と地方の共生
- 外国人労働者問題にどう対応するか
- デジタルエコノミーの急速な進展にどう対応するか（キャッシュレス化・IoT・AI・Bigデータ等）
- 事業継承の対応
- 中小企業として消費税にどう対応するか

参加費用

※1部～3部
会　員　20,000円
同伴者　10,000円

※講演会（第2部）
一般参加者　3,000円（資料代）

参加費無料の方
学生
広告掲載の方 1名のみ

※宿泊代は各自で直接お支払いください

一般社団法人日本経営士会

第53回 経営士全国研究会議 京都大会

テーマ **伝統と共創**「第４次産業革命とイノベーション」未来社会の構築に向けて

●経営士全国研究会議：経営コンサルタント団体である一般社団法人日本経営士会が、その活動の一つとして、時代の要求に応える経営コンサルタントの指導能力の向上と併せ、企業経営者や地域の方々との情報と意見交換による企業活動の高度化、経営力の強化を図ることを目的として、昭和 42 年以降、毎年、開催地域の経済産業局の後援を得て「経営士全国研究会議」を開催しております。

スケジュール

プログラムは変更になることがありますのでご了承ください。

第１日目 9月14日(土)

■**第一部　式　典**（会場：京都タワーホテル 9F「八閣の間」）

12:40 ~ 13:05 開会式（一社）日本経営士会 会長挨拶・実行委員長挨拶
ご来賓祝辞

13:05 ~ 13:15 ビジネス・イノベーション・アワード京都 表彰

一般公開 受付 13:30~

■**第二部　講演会**（会場：京都タワーホテル 9F「八閣の間」）

13:45 ~ 15:25 特別講演：
「SDGs と脱炭素化がもたらす ビジネス革命と地域循環共生圏」
環境省総合環境政策統括官　中井 徳太郎 様

15:30 ~ 17:10 基調講演：「日本航空が取り組む健康経営」-フィロソフィとウエルネス-
日本航空株式会社 **JAL** 代表取締役副社長　藤田 直志 様

■**第三部**（会場：ホテルグランヴィア京都 5F「古今の間」）

19:00 ~ 21:00 記念セレモニー・懇親パーティー

一般公開

■**研究論文発表**（会場：京都タワーホテル 9F「飛雲の間」「紫峰・白水の間」「ナポリ・ミラノの間」）

9:00 ~ 10:30 研究論文発表会　３分科会場（計９名発表）

第２日目 9月15日(日)

■**全体会議**（会場：京都タワーホテル 9F「八閣の間」）

10:40 ~ 11:50 全体会議・表彰・閉会式
全国研究会議多数回出席者表彰
第 53 回経営士研究プログラム優秀論文表彰
MPP 高単位取得者表彰・優秀会員表彰

●一般社団法人日本経営士会とは

通産省、経済企画庁の勧奨により昭和 26 年に創立し、昭和 30 年通産大臣の許可を得て社団法人となった豊富な実績と高い信頼性を誇る一流の経営コンサルタントの団体です。

詳細は「**日本経営士会**」で検索下さい。

● 京都タワーホテル
〒600-8216
京都府京都市下京区烏丸通
七条下る東塩小路町 721-1
(JR 京都駅烏丸中央口より徒歩２分)
TEL 075-361-7261

● ホテルグランヴィア京都
〒600-8216
京都府京都市下京区烏丸通
塩小路下ル東塩 京都駅ビル内
TEL：075-344-8888

会場のご案内

<全国研究会議申し込みは下記に記入してＦＡＸをお送りください>

(一社)日本経営士会本部　FAX 03-3239-1831　問い合わせは TEL03-3239-0691

企業名	出席者		住　所	
※個人の場合は記入不要			住所〒	
			電話	Eメール

研究論文発表会の来場者には研究論文集を進呈します　□ 希望する　□ 希望しない

※宿泊をご希望の場合はお問い合わせください。

★ご記入戴いた個人情報は経営士募集関係と当法人からの各種お知らせを差し上げる場合に利用させて戴く場合があります。

第53回 経営士全国研究会議 京都大会

【エキスカーションプラン】

＊車等の手配はありません。各自でご周遊下さい＊

酒どころ伏見の利き酒と龍馬ゆかりの「寺田屋」巡り

日本有数の酒処伏見を訪れ、酒蔵・酒工房を見学したのち、坂本龍馬が襲撃された寺田屋を訪れます。

【モデルコース】

近鉄京都駅～近鉄丹波橋～京阪中書島駅（全行程 約30分）→徒歩6分→月桂冠大倉記念館を見学・試飲（90分）→徒歩5分→寺田屋見学（30分）

二条城と神泉苑・御金神社をめぐるコース

世界遺産二条城とパワースポット神泉苑でパワーアップ。さらに金運アップで有名な御金神社を訪れるコースです。

【モデルコース】

地下鉄京都駅→烏丸御池駅→地下鉄東西線乗換→二条城駅（全行程 約30分）→徒歩5分→二条城（60分）→神泉苑（30分）→徒歩10分→御金神社（20分）

おこしやす! 伝統と共創の京都へ

実行副委員長　宮川晃

論文担当

実行委員　幹事　正木亮介

実行委員　幹事　北原雅人

実行委員　幹事　山下博

実行委員　幹事　赤堀敬二

実行委員　幹事　佐渡島周平

実行委員　幹事　上村義一

実行委員　幹事　奥田和子

顧問　鈴木祥浩

監事

(注) 前鋳方貞了 実行委員長変更につき実行委員会再編成

令和元年七月一日

観光タクシーチャーターコース

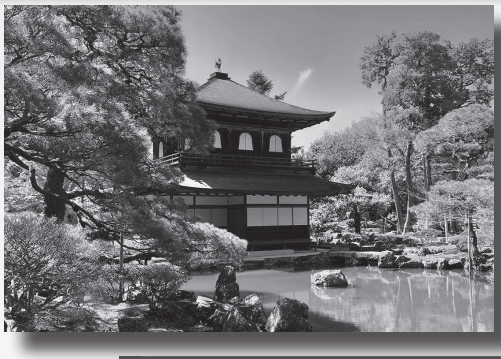
金閣寺、伏見稲荷大社、清水寺など、代表的な観光スポットを貸切タクシーで回るコースです。各タクシー会社へ事前に予約いただくことをお薦めします。

■MKタクシー　スタンダード車　4時間　4名　22,950円～

https://shuttle.mk-group.co.jp/limotrip/price/

■ヤサカタクシー　普通車　4名　20,400円～

https://www.yasakataxi.jp/sightseeing/



定期観光バス　案内コース

定期観光バスに参加し、京都の観光名所を回るコースです。観光バス会社へ事前に予約いただくことをお薦めします。

■京阪バス

https://resv.kyototeikikanko.gr.jp/Teikan/Web/Default.aspx

石畳の風情があふれる東山エリア

京都観光の代表的なスポットで、石畳の風情ある道が続くエリアです。

【モデルコース】

京都駅→清水道（市バスで約20分）→清水寺（60分）→徒歩15分→高台寺（60分）→徒歩10分→八坂神社（45分）

※清水寺から八坂神社までは歩いて周遊できますが、上り下りの多い行程です。

ご参加を心よりお待ちしております

第五十三回経営士全国研究会議
京都大会

主催　一般社団法人　日本経営士会
会長　青木幸江

主管　一般社団法人　日本経営士会
近畿支部

―実行委員会―

常任顧問　酒井三雄　元近畿支部長

実行委員長　中筋敏雄　支部長代行

実行副委員長　橋本俊幸　事務局補佐

実行副委員長　河上晃　副支部長

実行副委員長　瀬尾寿一　総務委員長

実行副委員長　藤井美保代　広報委員長

実行副委員長　常任幹事

実行副委員長　常任幹事　総務副委員長

理事会通信

＜令和元年度第一回定例理事会＞

記

日　時：令和元年5月17日（木）　13：00～15：00
会　場：本部会議室

≪審議事項≫

第1号議案：令和元年度 年間スケジュールについて

事務局より資料に沿って説明があり、全会一致を以って承認された。

第2号議案：令和元年度事業予算承認、並びに第3号議案：平成30年度決算承認について

両議案は関連議案のため、佐藤副会長、近藤専務理事から、資料に沿って交互に説明が行なわれた。審議の結果、全会一致を以って承認された。

なお、予算表の細部について修正の指摘があり、修正することとした。

第4号議案：総会までのスケジュールについて

事務局より資料に沿って説明があり、全会一致を以って承認された。

第5号議案：倫理規程改訂案について

近藤専務理事より倫理規程改訂箇所についての説明があり、審議の結果、再度検討することとなった。

第6号議案：審査資格における新たな基準について

津田担当理事より資料に沿って説明があり、外国人が入会する場合は在留資格証明書の提示を求める規程を加える。また、入会者全員に倫理規程を順守する誓約書を提出すること、経営士補から経営士に昇格する基準が提案され、それぞれの事項を改めてまとめたものを理事会に提出することが承認された。

第7号議案：CSR環境事業部からの提案

津田担当理事より資料に沿って、①「環境経営士養成講座」のEラーニング活用、②「SDGs経営士」の商標登録の提案があり、「SDGs経営士」については、内容を充分吟味することを前提に①②共に全会一致を以って承認された。

≪報告事項≫

①監査報告

石黒監事より「監査報告書」「公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告」の報告が行われた。

②役員賠償責任保険継続について

事務局より資料に沿って説明が行われ承認された。

③経営士全国研究会議の中間報告について

近藤専務理事より参加人数、式次第など、資料に沿って報告が行われ、参加人数の増員が要請された。

④産業能率大学連携事業の中間報告について

鈴木担当理事より提出資料に沿って説明があり、産業能率大学の会報誌に連携事業の内容が掲載されるなど、協力体制が出来上がりつつある旨の報告が行われた。

⑤健康経営について

鈴木担当理事より資料に沿って説明が行われた。

⑥支部支援金ついて

近藤専務理事より資料に沿って説明が行われた。

以　上

委員会活動

「地方創成SDGs官民連携プラットプラットホーム」入会申請中

CSR環境事業部

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための目標(SDGs)」に我が国も参加し内閣府を中心に実質的には今年度から活動を開始をしています。SDGsは17のゴールを設定していますが、わが国は8項目の課題を掲げて活動を開始をしています。この活動の一環でもありますが「地方創成SDGs官民連携プラットプラットホーム」が始まっています。当会の理事会でSDGsに積極的に参加することが決まりました。CSR環境事業部では上記プラットホームに3号会員として本部を通して参加申請中です。

2019年3月末の会員数は

1号会員(都道府県市町村) 254団体

2号会員(関係省庁) 12団体

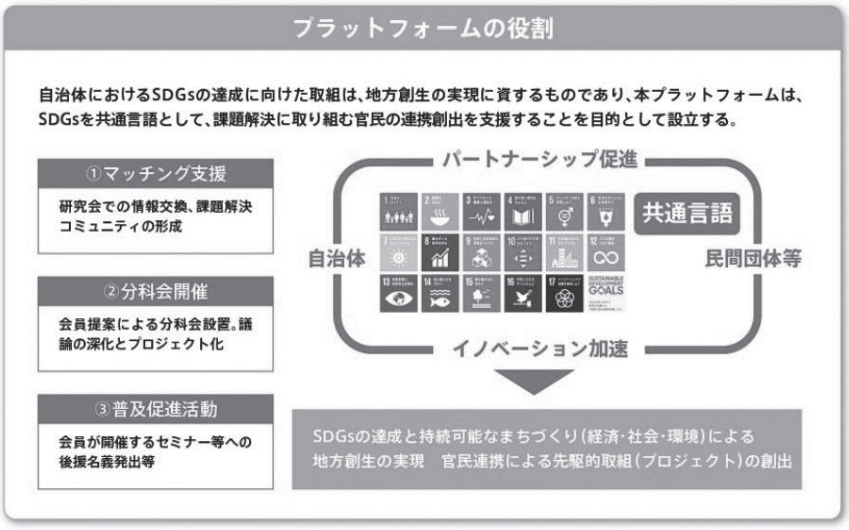
3号会員(民間団体等) 379団体 合計645団体

(この数値は6月10日現在、合計約750団体 (株)三菱総合研究所地方創成事務局)

「地方創成SDGs官民連携プラットプラットホーム」設立の意義(出典:内閣府 地方創生推進室)

国が示す多様な目標の追及は、地方自治体における諸問題解決に貢献し、地方の持続可能な開発、すなわち地方創生に資するものといえます。

地方自治体におけるSDGsの達成に向けた取組と、それに資する「環境未来都市」構想のさらなる推進を通じた、より一層の地方創生に向けて、地方自治体及び地域経済に新たな付加価値を生み出す企業、専門性をもったNGO・NPO、大学・研究機関等の広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化、官民連携の推進を図るため、「環境未来都市」構想推進協議会を発展的に改組し、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を発足することとなりました。



日本政府では、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の他に「自治体SDGs」も立ち上げています。全国の自治体による地域のステークホルダーと連携したSDGsの達成に向けた積極的な取り組みを自治体に促しています。

(CSR環境事業部:福井 浩)

委員会活動

ご案内とポイント取得・保有のご報告

MPP委員会

MPP委員会はMPP創設の原点を押さえつつ、管理運営しやすい整備をしてきました。

委員の役割分担を明確にし、スピーディな対処する組織を目指しています。

今回は各支部においてMPPリーダー更新研修の企画をお願いしています。

本部委員会においても担当者が責任を持って皆様の実績ポイントを把握しています。

MPP終了後の報告書は速やかに本部へご提出ください。MPP委員会で確認し、単位認定をおこなっています。ポイントの積み重ねは、より良い自分を磨きあげる原子です。

MPP委員会の活動にご協力よろしくお願いいたします。　（担当理事　佐藤 光子）

■平成30年度MPP取得単位一覧表〈5単位以上〉

会員番号	氏　名	支　部	県　会	30年度取得単位
2680	日野 隆生	東　京	—	68
4544	近藤 安弘	南関東	山　梨	46
4418	河上　晃	近　畿	大　阪	41
5179	北原 雅人	近　畿	大　阪	30
5276	竹岡 栄徳	近　畿	大　阪	30
4994	一瀬 良之	南関東	山　梨	29
4702	瀬尾 寿一	近　畿	京　都	24
4760	島影 教子	東　京	—	22
3970	塚本 裕宥	北関東	茨　城	21
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	21
4732	輿水　博	南関東	山　梨	18
4997	松永 桂子	南関東	山　梨	18
4984	萩原　玄	埼　玉	—	16
4784	土橋 留美子	東　京	—	16
3053	李　孟熹	台湾特別	—	16
5350	佐渡島 周平	近　畿	兵　庫	15
4516	陳　信安	台湾特別	—	15
5336	廣瀬　朗	南関東	山　梨	14
4804	陳　木梓	台湾特別	—	14
4905	陳　益世	台湾特別	—	14
5116	荘　翔斌	台湾特別	—	14
4595	黄　世欽	台湾特別	—	14
4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	13
4802	邱　黎燦	台湾特別	—	13
5425	安島 常貴	東　京	—	12
5061	江　致平	台湾特別	—	12
5221	蔡　有義	台湾特別	—	12
2042	木村 泰博	北関東	新　潟	11
5429	奥田 和子	近　畿	大　阪	11
3343	邱　炳輝	台湾特別	—	11
4334	謝　明堂	台湾特別	—	11
5117	陳　俊硯	台湾特別	—	11
2719	林　久雄	千　葉	—	10
3686	鈴木　勇	北関東	茨　城	10
2022	磯部 正美	北関東	新　潟	10
2041	渡辺 良男	北関東	新　潟	10
3176	桒山 一宏	北関東	新　潟	10
5426	山﨑 秀昭	東　京	—	9
5002	津田　嵩	南関東	神奈川	9
4733	広瀬 典仁	南関東	山　梨	9
5199	三品 富義	中　部	愛　知	9
5371	仲田 頼継	近　畿	兵　庫	9
2358	佐藤 光子	東　北	山　形	8
4908	橋本 琢磨	北関東	茨　城	8
5054	上村 直子	南関東	山　梨	8
4827	林　漢卿	台湾特別	—	8
5443	何　鴻鈞	台湾特別	—	8
3673	岡崎 充男	東　北	山　形	6
4869	臼倉 恵美子	埼　玉	—	6
2979	五十嵐 昭平	東　京	—	6
5407	大宮 政男	東　京	—	6
5365	今枝 健治	中　部	愛　知	6
5372	小林 里美	中　国	広　島	6
571	太田 能史	九　州	福　岡	6
2657	湯川 清美	九　州	福　岡	6
4712	八幡 憲一郎	九　州	福　岡	6
4458	小西 洋三	埼　玉	—	5
4909	中杉 保雄	埼　玉	—	5
5354	大内 雅功	北関東	茨　城	5
4575	平岡　武	北関東	長　野	5
834	髙橋 栄一	南関東	神奈川	5
5182	福田 幸雄	中　国	広　島	5
2421	大内 正雄	九　州	福　岡	5
2323	藤原 義博	九　州	大　分	5
5441	吉松 忠俊	九　州	鹿児島	5

（敬称略）　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

■MPP高単位 保有者一覧〈通算50単位以上〉

会員番号	氏　名	支　部	県　会	30年度迄の累計
2680	日野 隆生	東　京	—	390
3053	李　孟熹	台湾特別	—	376
4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	375
3970	塚本 裕宥	北関東	茨　城	370
4418	河上　晃	近　畿	大　阪	309
3584	鈴木　健	南関東	神奈川	264
4544	近藤 安弘	南関東	山　梨	262
2972	張　銘江	台湾特別	—	254
209	平山 道雄	東　京	—	239
4702	瀬尾 寿一	近　畿	京　都	200
3343	邱　炳輝	台湾特別	—	186
4334	謝　明堂	台湾特別	—	179
571	太田 能史	九　州	福　岡	176
2022	磯部 正美	北関東	新　潟	169
4595	黄　世欽	台湾特別	—	159
4516	陳　信安	台湾特別	—	158
4827	林　漢卿	台湾特別	—	158
3686	鈴木　勇	北関東	茨　城	145
442	渡部 喜政	東　北	秋　田	144
648	後藤 彦一郎	九　州	福　岡	138
2042	木村 泰博	北関東	新　潟	135
4802	邱　黎燦	台湾特別	—	135
4760	島影 教子	東　京	—	132
2421	大内 正雄	九　州	福　岡	131
4804	陳　木梓	台湾特別	—	130
4905	陳　益世	台湾特別	—	126
4984	萩原　玄	埼　玉	—	118
4994	一瀬 良之	南関東	山　梨	113
5276	竹岡 栄徳	近　畿	大　阪	112
2358	佐藤 光子	東　北	山　形	110
2041	渡辺 良男	北関東	新　潟	107
2719	林　久雄	千　葉	—	103
1340	髙橋 幸雄	南関東	神奈川	101
4412	東原　實	四　国	香　川	101
5179	北原 雅人	近　畿	大　阪	100
1150	出村 忠廣	南関東	神奈川	93
4269	齋藤 誠一郎	東　京	—	92
1210	山内 輝光	九　州	福　岡	91
2323	藤原 義博	九　州	大　分	91
4018	松尾　實	東　京	—	90
4013	豊田 賢治	埼　玉	—	86
3176	桒山 一宏	北関東	新　潟	85
3693	鳥越 國男	中　国	広　島	85
1868	石黒 不二夫	南関東	神奈川	81
4997	松永 桂子	南関東	山　梨	81
5117	陳　俊硯	台湾特別	—	81
4054	神﨑　進	九　州	福　岡	80
3249	松永 準一	中　部	愛　知	79
911	鈴木 祥浩	近　畿	大　阪	78
5116	荘　翔斌	台湾特別	—	78
4125	鑄方 貞元	近　畿	兵　庫	77
4869	臼倉 恵美子	埼　玉	—	76
2306	山本 正樹	中　国	岡　山	76
1112	森川　昇	北関東	栃　木	75
834	髙橋 栄一	南関東	神奈川	74
3562	蔡　全智	台湾特別	—	74
4703	佐藤 昌次郎	近　畿	兵　庫	72
4024	藤島 公平	中　国	山　口	72
5002	津田　嵩	南関東	神奈川	71
1121	中野 澄雄	中　国	広　島	71
4348	藤本 賢司	中　国	山　口	71
4705	岩井 美喜夫	四　国	香　川	71
2367	茂木 達男	東　北	山　形	69
2452	鶴岡 義明	千　葉	—	69
4733	廣瀬 典仁	南関東	山　梨	69
3355	植木 和宏	四　国	高　知	68
2979	五十嵐 昭平	東　京	—	66
5221	蔡　有義	台湾特別	—	66
3894	田中　實	東　京	—	65
5278	宇和野 敦子	近　畿	兵　庫	63
4945	江尻 敏彰	中　国	岡　山	61
4784	土橋 留美子	東　京	—	57
3116	伊藤 彰彦	南関東	静　岡	57
5199	三品 富義	中　部	愛　知	55
2311	高田 英二	四　国	愛　媛	55
4311	高村 一文	北海道	札　幌	54
2929	山本 英夫	南関東	静　岡	54
3753	大久保 一	東　京	—	54
2256	小林 敏雄	埼　玉	—	53
3254	伊藤 三男	中　部	愛　知	53
4624	臼井 邦夫	北関東	栃　木	51
3872	加藤 健二	中　部	愛　知	51
3966	庄司 芳昭	東　北	宮　城	50

（敬称略）　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

委員会活動

『経営革新計画プロフェッショナル養成講座』

「経営支援アドバイザー」資格取得講座開催報告

経営支援事業部

5月18日（土）～ 19日（日）に東京日本橋の日本健康機構セミナールームにて、経営革新計画プロフェッショナル養成講座を越智圭一郎会員、豊田賢治会員の2名の講師により開催いたしました。九州・中部・北関東・南関東・東京・埼玉から11名の方にご受講いただきました。経営支援アドバイザー資格取得に向けて皆様からの熱意がひしひしと伝わり、充実した講座でした。

講座の概要

1. **経営支援アドバイザーと認定支援機関について：**
   日本経営士会が認定支援機関として、国から一定の経営支援スキルがあると認定された組織であること。経営支援アドバイザーは講座等の受講により一定のスキルを取得しているとみなし、補助金申請等で認定支援機関としての確認書や所見書等が必要な場合に、日本経営士会に申請できること。
2. **経営革新計画の紹介と申請書の書き方：**
   経営革新計画は新たな取り組みを行う中期計画であり、作成メリットや申請書の作成方法の解説。
3. **事業開発とマーケティング：**実例を使った事業開発とマーケティング理論の解説。
4. **損益計算書と貸借対照表の見方：**
   損益だけでなく資産・負債・資金の関係をミニ演習を交えて解説。
5. **経営革新計画演習：**
   実際の実例をもとにしたケースを利用した演習を個人ワークからグループワーク及び発表。新商品の取り組みを環境分析から3年間の中期計画の策定まで。
6. **案件受注ケーススタディ：**案件受注の仕方の紹介。
7. **政策関連の紹介：**各種補助金等の紹介

受講者の感想

・テキストがよくまとまっていて非常にわかりやすい。
・実例を用いてマーケティング理論を説明されたのが参考になった。
・他の経営士とのワークショップ前に自身で演習を実施したことで勉強になった。
・経営支援アドバイザーの資格を全ての日本経営士会の経営士が取得すべきだ。

と大変好評だったため、これまで1回／年を2回開講できるよう検討したいと考えております。受講された皆様方の経営支援アドバイザーとしての活躍を期待しております。

（経営支援事業部　豊田 賢治）

〈2日目 事例演習風景（3班編成）〉

〈（前列中央）青木会長、講師・受講生集合写真〉

委員会活動

「第1回 コンサルタント起業塾」開催のご報告

経営支援事業部

経営支援事業部では、定年退職後などのセカンドキャリアとして、経営コンサルタントへの転進を希望されている方などを主対象に、本年4月「第1回コンサルタント起業塾」を開催いたしました。

「コンサルタント起業塾」は、コンサルティング現場で必要とされる各種指導方法や、起業形態、顧客開拓の進め方などを、少人数でコンパクトに学ぶことができる、個人指導形式の起業支援塾です。

第1回は3名の受講生をお迎えし、主任講師は、経営支援事業部委員長の川崎隆夫が務めました。

主な学習内容は以下の通りです。

【主な学習内容】

・認定経営革新支援機関としての日本経営士会の活動・特徴ほか
・マネジメントコンサルタント(経営士)の仕事内容、活躍できる領域
・中小企業向けコンサルティング市場の特性
・コンサルタントの各種指導手法、問題解決プロセスなど
・コンサルタントの独立・起業形態
・コンサルタントのセルフブランディング、セルフマーケティング手法
・知識・スキル、経験等の棚卸し
・日本経営士会の機能を活用した顧客開拓プロセス、顧客開拓手法のご紹介
・経営士による顧客開拓事例のご紹介ほか
・今後のビジネスプラン、アクションプラン策定演習　ほか

「第1回コンサルタント起業塾」は、ご参加いただいた方から高いご評価をいただくことができ、ご参加者全員が日本経営士会に入会を予定されています。この結果、経営支援事業部では、今後も「コンサルタント起業塾」を、定期的に開催する予定です。

【コンサルタント起業塾の概要】

日本経営士会会員のご友人などで、今後経営士として独立を検討されている方がおられましたら、是非「コンサルタント起業塾」の受講を、お奨めいただけますと幸甚です。

「コンサルタント起業塾」の詳細は、以下専用サイトをご覧ください。

●「コンサルタント起業塾」専用サイト　https://www.pro-keieishi.com/

（文責・川崎）

委員会活動

外部用新ホームページのご案内

広報委員会

昨年から検討していた新入会員のための(外部用)HPの新設であるが、国の補助金である「平成29年度補正サービス等生産向上IT導入支援事業」を実施した成果として、3月から新HPがオープンした。https://nihonkeieishikai.com

内容としては、

1. 日本経営士会の歴史、
2. 活動内容(公益事業、人材育成事業、経営支援事業、共益事業の4つの柱)、
3. プロ経営コンサルタントしての証明として入会すると次のメリット。

メリット1 人　脈：長い歴史の中から培った経営士会の良質な人脈がある。

メリット2 機　会：経営士会で得るチャンス(機会)がある。得意な分野を生かすチャンスがある。

メリット3 経験値：経営士会で身に付ける経験(勉強会や研究会共同のプロジェクトに参加して経験値を高め、そしてビジネスに生かすこと)など。

これからプロコンを目指して、経営士会に入会する方のために経営士、環境経営士、経営革新計画プロフェッショナル養成講座などの紹介と申し込み方法を掲載する。

4. 各支部から推薦頂いたプロコンの会員が最近の活躍ぶりを紹介するコーナーや若手経営者が集まる会エグゼクティブクロッシングの活動も掲載する。

この紹介コーナーの充実を実施したいため、各地の支部会員で活躍するプロコンの方を支部長から推薦して頂きたい。

また経営士会は産業能率大学と正式に提携をしましたので、産業能率大学の今期からの卒業生用のパンフレットを制作して、現在も入会促進を実施しています。HPのアドレスとQRコードを掲載して、スマホからも経営士会のHPに検索し易いようにしている。

※広報委員会からのお願い！
支部で“活躍する会員”を紹介してください。

経営士会HP

QRコード

女性経営士の会 NJK活動報告

7月、8月のNJK主催の外部向け講演会とセミナーのお知らせ

●印象力　外部セミナー

7月9日（火曜日）13：30 ～17：10　**中部大学　東京事務所（日本橋）**

一部　講師：柳沼佐千子 氏／印象エキスパート代表　経営士

『出会った0.1秒で売上が決まる！』

～印象力で相手の心を一瞬でつかむ方法～

二部　講師：児玉充晴 氏／中部大教授　経営士

『相手の心を読む方法』 ～観察力と仮説検証で聞く力～

●Web 会議の効果的進めかた

7月28日（日曜日）13：30 ～　**経営士会本部会議室**

講師：土橋るみこ 氏

株式会社戦略経営研究所　NJK副会長

NJKでは全国ネットワーク強化を目的としてNJKと各拠点をつなぎWEB会議を本部へのインフラ導入も視野に検討しています。6/6には一木会にて第1回のWEB会議の導入と活用を説明しました。7月28日はICT動向を含めた追加講演を行います。

●2019 Woman MPP in 越後湯沢

女性経営士の会NJKと新潟県会とのコラボ企画第7回

8月31日（土曜日）　**新潟県　越後湯沢　東映ホテル**

ランチ懇親会で親睦を含めた後女性リーダーでMPP開催

越後湯沢駅着11:36着後　会場まで送迎あり

日帰りコースです。

これからのNJK

- 9月14日（土）　全国研究会議　2次会にて女性会員ネットワーク支援
- 10月27日（日）13：30 ～　東京ウィメンズプラザフォーラム参加決定！
  『好きを仕事にする』をテーマに講演とシンポジウムを行います

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。

○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。

【お問合せ】TEL：090-1812-9812　島影（bzu03624@nifty.com）

生産研究会通信

第6回生産研究会の報告

生産部会では令和元年を迎え、心新たに第6回生産研究会を5月31日(金)に三鷹商工会館で開催致しました。今回は「我が国製造業の現状と課題～ Connected Industriesの推進～」(経済産業省製造産業局：平成31年2月)で紹介された中小企業のデジタル技術等を活用して生産性向上に取り組む事例を主体に研究討議致しました。

第6回生産研究会の実施内容についてご報告致します。

1. 参加者：7名

2. 生産研究会プログラム：

2.1 生産性向上に向けた最新情報、取組話題の報告

①地球環境と交通の未来

～水素(FVC)は電気(EV)に勝てるか～

②独ハノーバーメッセ考察、産業用ドローンの市場動向

2.2 中小企業の生産性向上への取り組み提言

2.3 中小企業のConnected Industriesの推進事例

3. 発表内容・討議について：

3.1「地球環境と交通の未来」の報告　　西 満幸 氏(経営士、技術士)

西講師より、話題になっている下記内容について報告がありました。

①地球環境とSDGs

・悪化する地球環境(氷河消滅／北極海航路／ベニス沈没等)
・都市システムの新戦略：スマートシティー
・SDGs視点でのエネルギーの流れ、電気を今後、どのように作るか？
　エネルギーを高効率に使う社会
・「コト」から「コトとモノ」へとIoT(データに価値、あらゆる産業のサービス化)
・組織や製品の存続について(変わる・新しいものをつくる)
・破壊的イノベーションモデルの理論(持続的、ローエンド型、新市場型)

②電気自動車(EV)

・低炭素化／電源立地は大規模集中から小規模分散／自動車を核としたエネルギー融合社会
・車の未来は大きく変わる～自動車新時代の到来～ CASE
・車の価値はモノからコトへ～ MaaS
・車の電動化の流れ
・これからの移動(動力と空間：空飛ぶタクシー、トラック)・・・等

③燃料電池車(FCV)：究極のエコカー

・注目される水素基本戦略のシナリオ

・FCVはCO_2削減効果が大きい

・水素エネルギーシステムと必要技術

・公共水素ステーションの整備拡大

・空気電池が2020年代に実用化

3.2 新情報の報告　　山本 忠 氏(経営士)

①独ハノーバーで開催された産業見本市(メッセ)の考察

・75以上の国と地域から6500以上の企業・団体が出展(日本企業82社が出展)、来場者は75ケ国、21万5千人。

・特徴：

・ITベンダーの展示拡大・現場レベルで成果を生み出す仕組みに関するソリューションの展示が目立つ。

・インダストリー 4.0の取組が着実に進んでいる印象。

・中堅企業でも機器の製造履歴・使用状態のモニタリング、情報活用の事例が多く展示されている。

・5Gを工場などで使用する動きが加速、目立つ。

②産業用ドローンの市場動向

・ドローンの産業市場が広がる。

2024年度の国内市場は約5000億円と2019年度の3.5倍を期待。

・足元では農業用が多く、今後は物流、老朽化したインフラ等の点検分野でも需要が急増する見込み。

・けん引役はスタートアップ企業。

・中国の世界最大大手企業のDJIが本格参入、日本企業は価格競争力が課題。

・海外でも産業市場は広がる見通し。

・ドローンの課題は機体の信頼性の確保と規制緩和。

3.3 下請製造業の生産性向上の提言：豊泉 光男 氏

(荒川区 産業経済部経営支援課 産学連携上級主任推進委員)

・ものづくりに必要な生産技術を知らない。生産技術の育成が重要である。

・生産現場が弱い。強い現場を作ろう。

・5Sが定着していない。

・販売、作るものを確保する。自社製品(オリジナル製品)の開発を強化する。

・安全に働きやすい職場を作り、自主活動を促す。スパルタは絶対ダメ。

・ゲームを入れたり楽しくやる。

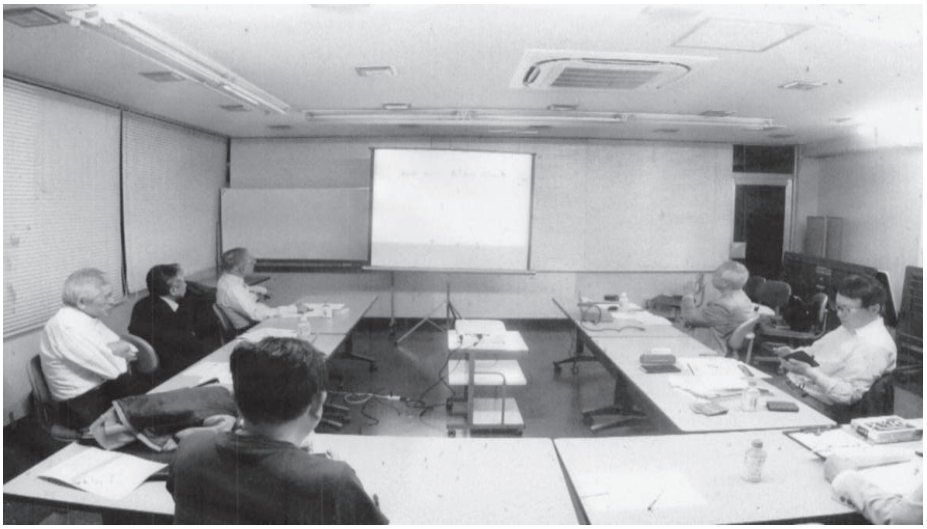
・20人～30人の企業交流は良い効果をもたらしている。・・・等

3.4 Connected Industeiesを推進する中小企業の事例検討

次の企業の推進事例について、討議しました。（事例11社）

・「人×人」、「人×機器」、「部門×部門」、「工場×工場」「企業×企業」のコネインを推進し成果を上げています。

・コンサルタント指導・支援に推進事例は大変参考になると思います。



（生産研究会の様子）

第7回生産研究会開催のご案内

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：8月23日（金）　午後6時～8時50分
2. 三鷹商工会館：JR三鷹駅南口より徒歩約7分、中央通り果物（一富士）右折
3. プログラム

◆最新情報、取組話題の報告

◆物流の未来：押し寄せるCASE・MaaSの波と物流産業への影響等

4. 参加費：2,000円

｛申込み｝〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F

日本経営士会　生産研究会

担　当：平山道雄［☎ 042-243-1034］

連絡先：山本　忠［☎ 080-6757-1131］

E-mail：yama-chu19-fukuei@swan.ocn.ne.jp

（生産研究会　山本 忠　記）

第49期経営士養成講座・修了

2019年4月6日(土)に開講しました第49期経営士養成講座は中日本ブロック・南関東支部が主管で運営し(本部共催)、6名の受講者が最後まで熱心に参加いただき、6月8日(土)に無事修了しました。

(実務研修の様子)

今回の実習先は、東京茅場町にオフィスを構えるM社様でした。当該組織は「まごころサポート」を通じて地域のお客様に安心と便利さをお届けする「地域密着型ビジネス」をフランチャイズ(FC)するビジネスモデルを中心に、2020年にはIPOによる上場を目指すベンチャー企業です。デジタルとアナログを融合してシニアが安心して暮らせる社会を実現するべく、社長自らが日本全国を飛び回って事業展開を行なっています。上場を目指すスタートアップ企業のため、数字には表れない特徴や問題点・課題を見つけることが大変困難なケースでした。6名の実習生はそのような企業の特性にもかかわらず、各人の経験や講座で学んだ手法などを駆使して、現状分析、課題の抽出、提案までを短期間でまとめ上げました。FCビジネスの難しさを肌で感じながら、自分達の経験に基づくFC対象の拡大提案、IoT活用、健康経営の必要性などを盛り込んだ診断書を作成し報告することができました。社長の熱い想いに触れながらM社様の経営診断書作成を経験できたことは、実習生一同の貴重な体験となり、今後もM社様を共に応援し、発展を期待する一層の糧となりました。

(講座修了時アンケート)

★議論の中で、自分の思考の癖にも気づき、より柔軟な考え方で傾聴してディスカッションする事で成果が上がる。会得したノウハウを自社にも生かし、実践したいと思います。

★ドライバーで入社し、現場から経理そして親族外承継で経営者になった今、この経験を基に誰かに何かを与えるきっかけが持てた。この講座で学んだ知識、情報、経験を人にアウトプットする事で、更に目指す目標に近づくのではないかと思います。

★私は当講座で得た知識・情報・経験を今後、首都圏、特に千葉県の中小企業の経営支援に生かしたいと考えています。補助金の申請支援に加えて、クライアントの新価値創造や付加価値向上にも参画していきたいです。つまり、クライアントとの共創を実現したいです。

★理美容業界に則した体系的、継続的に経営を学んでゆけるプログラムの作成を行い、このプログラムをもとに顧客を対象にした講座を開く。経営士会で開かれる様々な講座、交流の場を活用し、学習・人脈の幅を拡大してゆく。

★まずは今回の講習を生かし、私の会社の「分析」を自分自身で行ってみようと思います。

(第49期経営士養成講座修了式)

修了されました6名の受講者は全員入会予定です。今後の経営士としての活躍を期待します。

(塾長　戸部 廣康・実務研修責任者　大蔵 充夫)

寄稿

武術と健康に関する話 （第13回）

平　直行

■ 何故スポーツをやると体を痛めるのでしょうか？

無意識の運動司令の働き

無意識の運動司令は人が体を動かす際に常に働いています。常に働いていないと体は異常な状態になります。無意識の運動司令とは無意識なので感じないだけで、実際には常に働いています。いくつか無意識の運動司令の例を挙げてみましょう。意識をしないで常に働く体の器官は数え切れない程あります。例えば心臓の動き、そして内臓の動き。意識しないでも常に働いてくれている有難い体の一部です。血液の循環もそうですし、体内を循環する体液の全ては無意識に循環して生命を適切に維持してくれています。気がつかないだけでこれはとても有難いことです。この全てを自分の意思で行なうことは不可能になります。無意識の運動司令が乱れれば内臓の働きや血液、体液の循環が乱れます。これが病気と呼ばれるものです。自分の意思で動く物は体の内部だけでなく、外部との関係においても同様に働きます。気温の変化も外部との関係で、気温が変化すれば無意識に体温調節を行い、生命を適切に維持する活動の変化が始まります。

外部との関係は体を動かす場所や、持つ物との関係においても同様に行なわれます。これが昔の東洋の身体論の核になり、現代では未だ到達していない未知の領域になります。何度も連載で繰り返し書いているこの原理を使うと体は劇的に改善してゆきます。山歩きをしたり、自然の中で遊んだりすると体が元気になります。体を動かす本来の環境に近い場所では、難しい運動をしなくともただそこにいて体を普通に動かすだけで体が元気を取り戻します。設備の整ったジムや運動場でスポーツをすると、体が元気になったような感じがします。ところが暫くすると何となく体に違和感が出て来ます。運動を休むと調子が悪くなるという話をよく耳にします。本当にそうであれば動物も運動する筈ですね。運動をしない動物の方が運動をする人間よりも遥かに良く動き健康な体を維持しています。

間違った動きは気持ちが良い？

一体何故運動をすると気分が良くなるのでしょうか？そして元気になった筈の体がやがて痛んでゆくのでしょうか？ジョギングをすると爽快な気分になる。少し休むと気分が良くない。何日も休むと体が重くなったような感じがする。そして何年もジョギングを続けているうちに膝や腰が悪くなった。このような話を聞くことは結構多いです。爽快になって中断すると気分が悪く体が重い感じがする。今から書く話は僕の仮説です。これも無意識の運動司令が関係しています。格闘技をやった経験と無意識の運動司令による正しい運動を知って気が付いた仮説です。何故運動をすると気持ちが良くなるのか？おそらく脳内物質が分泌されるからだと想像出来ます。脳内物質は体が危機的な状況になった場合にも無意識に出て来ると考えられます。

例えば太古の時代に獣に追われて走って逃げる時に、とても疲れて走るのが嫌になります。そのまま休んでしまえば獣の餌食になってしまいます。体の限界を超えそうな時に無意識に脳内物質が分泌され更に体を動かす手助けをしてくれ更に体を動かすことが可能になります。これは生命維持の素晴らしい機能だと考えられます。格闘技のプロの時代、練習で同じ状態になりました。そういった練習は体にとても良いと勘違いをしていました。練習を休むと気分が良くなく体調も変な感じがします。だから毎日練習をします。そして毎日続けているうちに体の変調を感じてやがて違和感は痛みに変わり、体を痛めて引退というのが多くのスポーツ選手に共通する流れだと思います。間違った動きや限界を超えた動きは体を痛めます。ただし本来の野性の暮らしでは必要が生じる場合があります。

必要のない時に日常的に自然ではない場所で行なう運動によって脳内物質を分泌させるのは実は知られざるスポーツ障害の原因だと思ったりします。武術では気持ち良さは求めません。ただそこにいてただ動く、自分の体を感じない位に静かな感覚が優れた身体操作のコツとなります。格闘技のプロだった時代の試合の時に何度か似たような感覚になったことがあります。その試合は鮮やかに勝つことが出来ました。

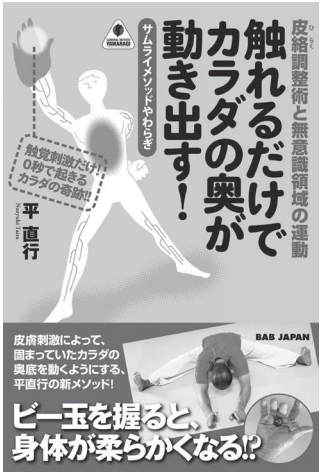
おそらく身体感覚が生じた時点で何かの問題が体に生じているのだと考えられます。痛いという感覚は壊れる感覚で、気持ちが良い感覚は実は運動を止めるサインなのだとも考えられます。そうでなければ気持ち良く運動をして体を痛めることは考えられないのです。サウナに入ると気持ちが良いです。サウナも異常な環境です。気持ち良さを欲張ればのぼせて体に良くない。もっとも適度な気持ち良さであれば体に良いとも思えます。スポーツをする時に、心掛けることはサウナに1時間入るような長時間の運動を避けることです。

整備された場所での運動が良くないとはいえ、現代の暮らしでは体を動かす事自体が異常に少ないので適度な運動はやった方が良いと思われます。次回からは運動不足の方が効率良く体を動かす方法、そしてスポーツを日常的に楽しまれる方が体を痛めない為に出来る簡単な運動の紹介を始めます。人が体の運動機能を高めるには条件があります。人の運動の性能が本質的に高まるのはバランスを維持して動かすことです。自由に体を動かせる場所では体の奥は無駄なエネルギーを消費しないように動きに制限を無意識にかけます。

その反対に不自由な動きをする場所では、バランスを維持する力を出す為に無意識に体の奥の動きを解放します。不自由な動きをする事で体の奥の自由な動きを導き出す。この聞いた事のないような言葉こそが武術の身体操作の秘密になります。

平直行先生の新刊が発売されました！

無意識の運動司令に関する詳しい話は現在発売中の新刊に書いてあります。お買い求めはAmazonにて！



会員の輪
効果的な労働安全衛生マネジメントシステムを構築するために

九州支部　会員3440　城ヶ﨑 豊海

その日も九州自動車道のトンネル工事が計画どおりに進行していた。トンネルの切羽に変状がないことを確認して現場事務所に帰ってみると事務所内は大騒ぎであった。事故が発生した。トンネルの反対側の坑口のセメント処理による押さえ盛土施工中に機械が転落し、オペレーターが巻き込まれた。死亡災害が発生した。遺族には0歳児がいた。

労働災害撲滅に向けて厚生労働省を頂点にして法律の整備や規制が強化されているが、労働災害の発生はゼロにならない。平成30年度も909人（建設業309人、製造業183人、陸上貨物運送事業102人　他）の方が尊い命をなくしている。現在の活動は、ISOマネジメントシステムの構築と審査が中心となっている。2018年に労働安全衛生マネジメントシステムがISOとして発行され、建設業を中心にしてシステム構築及び審査が増加している。労働安全衛生のための仕組みを構築して、社員及び協力会社のスタッフを災害や疾病から守る活動は不可欠である。社会は少子高齢化が進行しており、業種業態を問わず高齢者も貴重な戦力となっている。その業務は若い時から担当しており、不安な点は何もないと考えるが、ところが身体能力は衰えていることを認識できていない。

ISO45001：2018は労働災害や疾病を防止するために、理論的に危害を分析して管理策を決定し、日々監視して改善活動を展開することを要求している。

例えば、天井の照明ランプを交換する場合、脚立を使用するのが一般的であり、想定される災害として脚立転倒による転落事故が考えられる。当該事例の対策として転倒を防止するために脚立の固定をあげることができるが、優先順位を考慮して対策を講じることも要求され、最優先は脚立による作業をしないことで、より安定性の高い作業台車を使用する対策を講じることになる。作業場所や財務的に作業台車を使用することが困難であれば、脚立の固定を管理策とすることになる。設計段階であれば、照明ランプを設けなくても良い明り取りを考えることがベストである。

ISO45001：2018（労働安全衛生マネジメントシステム）の要求事項に、「働く人及びその他の利害関係者のニーズ及び期待の理解」が新たに加えられたが、社員及び協力会社のスタッフは当然であり、その家族こそ一番の利害関係者と理解する。

家族にしたら「お父さんの一番のお土産は、全部食べた弁当箱と笑顔」と理解する。夜は家族全員が笑顔で食卓を囲み、今日の出来事を語る、そんな時間を過ごすことができるように、効果的な労働安全衛生マネジメントシステムの構築に貢献したいと考える。

■次回号のご執筆は、九州支部の神崎進会員にお願いします。

会員広場

【プロレスと経営】（第14回）

堺　剛

プロレスラーの引退と事業承継

かつての全日本女子プロレスにはかつては25歳定年制というルールがあった。結婚や他の仕事を探す等、新しい生活をしてほしいという団体経営者の親心からである。この制度はエース格にも例外なく設けられた。ビューティペア、クラッシュギャルズといった時代を作ったエースも例外ではなく人気絶頂の中で引退を余儀なくされた。

言うのは簡単であるが、人気がある選手を引退させることはなかなかできることではない。売上大幅減の可能性は払拭できないからだ。しかし社内ルールに適用外を設けず、経営者自らがルールを徹底して守る姿勢が統制の効いた組織を作りあげる。全日本女子プロレスが独占状態だった80年代までは、この25歳定年制によりエース承継等が健全に行われていた。そんな25歳定年制が崩れ出したのは90年代からである。新団体が出現し女子プロレス界は独占市場ではなくなった。80年代に引退をしたかつてのエースたちは他団体で復帰を始めた。それを機に全日本女子プロレスの25歳定年制も形骸化してしまった。定年制がなくなったことにより自分自身が引き際を決めることになった。しかしながら引き際を自分で引くことは至難の業である。プロレスラーは引退後のキャリアを描きにくいため、現役に固執し、結果レスラーが高齢化してしまう傾向にあるようだ。

女子プロレスラー全員の平均年齢を計算したことはないが、2019年の時点では少なくとも25歳を上回ることは間違いない。ダンプ松本58歳、ジャガー横田57歳、長与千種54歳はいまも現役としてリングに上がり続けている。一方、男子の方も平均年齢が上がっている感がある。長州力67歳（今年6月引退）、藤波辰爾65歳、大仁田厚61歳（引退7回、現在復帰中）、武藤敬司56歳。

プロレスラーの引退問題と事業承継については共通するところがある。経営者もプロレスラーも、『**引退をすることによって社会との繋がりを失うことが怖い。**』のがその心理であろう。

80年代の新日本プロレスにはアントニオ猪木の後継者候補がたくさんいたが、猪木はその誰にもエースを譲らなかった。そのため多くの人材が猪木のもとを去った。しかしながら、猪木が89年に参議院議員になった際に、経営にも興行にも関わらなくなった。これ幸いと新日本プロレスは闘魂三銃士という新たなエースを立てて会社を成長させた。

猪木の例を見てもわかるとおり、新たなステージを与えられたことによって、自然に今の地位を手放せる場合もある。そのような“道”をクライアントと寄り添い考えていくことがコンサルタントの醍醐味であると感じる今日この頃である。（続く）

堺　剛：
経営士（会員番号5384）、環境経営士（認定番号244）。
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。バンダイビジュアル株式会社を始めとして、中小企業・外資系企業数社で経理のキャリアを20年以上積み2017年4月会社設立。
【事業内容】 1. 菓子専門商社業、菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
2. パートタイム経理部長サービス（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

支部活動報告

東北支部活動報告

東北支部

1. 定期報告会、ブラッシュアップ研修、記念講演会を開催しました。

東北支部では以下の通り、定期報告会、ブラッシュアップ研修、記念講演を開催いたしました。

日　時　令和元年6月1日（土）

10：00〜12：00　会員ブラッシュアップ研修

講師　梅津周子会員・東海林祐樹会員

12：00〜13：00　定期報告会（昼食付）

13：30〜15：00　記念講演

講師　松本晋一氏（株式会社O2　代表取締役CEO）

15：00〜16：30　懇親会

場　所　ホテル法華クラブ仙台

東北支部では、資格登録後も会員の研鑽を図るため、新しく入会された会員をメインに講師を担っていただく定期的にブラッシュアップ研修を行っています。今回は、東海林佑樹会員の「平成31年税制改正について」と梅津周子会員の「SDGs解説と活用法」でした。

（講義中の東海林佑樹会員）

（定期報告会は30名以上参加）

12時からは昼食を挟んで定期報告会を開催しました30名以上の会員が出席で、全国でも稀に見る出席率かと思います。橋本ブロック理事にも参加いただきました。

13時30分からは記念講演を開催しました。講師は、製造業のコンサルティング事業を展開している株式会社O2代表取締役CEO松本晋一氏を講師に迎え、「世阿弥と一緒に1000年企業について考えてみよう」と題して、世阿弥の言葉を例示して経営についてわかりやすく楽しい講義をやっていただけました。会員以外の一般方も多く参加いただきましたが、皆さん大変ためになったと話しておられました。終了後は懇親会を開催し、参加者同士親睦を深めました。

（橋本ブロック理事も参加）

（講義中の松本晋一氏）

支部活動報告

令和元年度　北関東支部事業報告会

北関東支部

報告者　長野県会長　平岡 武

北関東支部は5月18日(土)13：00 ～ 16：00　事業報告会を会員企業である長野市の「あったか子育て応援住宅(株)長野支店」の会議室をお借りして実施した。(長野県会主管)

参加者　桑山支部長、臼井会計、茨木監事、橋本ブロック理事、塚本茨城県会長、
森川栃木県会長、磯部新潟県会長、平岡長野県会長、宮内会員(長野県会)　計9名

議題

1. 平成30年度支部事業報告、収支報告、各県会報告
2. 令和元年度支部事業計画、予算案、各県会報告
3. 本部関連事業(会計セミナー、ポリテクセンター関連)への積極的取組
4. 群馬県会の件
5. 京都全国研究会議への出席依頼と予定者確認
6. 次年度の支部事業、新潟全国研の内容検討
7. 会員増強の件

(活発な意見交換風景)

1、2号議案は共に了承され、他議案については積極的な意見交換と討議が行われた。支部としての対応や方向性の確認を行い、各県会単位で対応していくことになった。(群馬県会は別対応)今年度の支部MPPは、11月30日(土)、12月1日(日)に栃木市で開催することに決定した。

北関東支部は経済的背景の異なる独立した5県会の集合体として運営されている。平成30年度支部全体としては、新規入会もあったが退会者も多く実質7名の減少になった。高齢化の問題も大きいが、会員の増強の取組が必要な事を確認した。支部の中核を担ってきた群馬県会のベテラン県会長が突然の病に倒れた混乱もあり、群馬県会が機能していない状況が報告され、支部長を中心に今年度中の正常化を目指す。組織の運営は常に複数人で行う必要を痛感した。

また、減少傾向の群馬県会、栃木県会、長野県会の会員増強策として、会員を増やしている、茨城、新潟両県会の取り組み等の紹介もあった。来年の全国研に向けて包括テーマ、アワード、基調講演等についての意見交換が行われ、成功に向け準備を進める事になった。橋本琢磨ブロック理事の積極的な発言もあって、充実した事業報告会になった。

支部活動報告

2019年度第1回 茨城県会公開MPP 開催結果

北関東支部

当会会員の皆様、当会の宝であるMPPを大切にすることを期待します。

この結果報告については、批判的にお読みいただきたいが、批判に終始するのではなく、肯定できる点については、参考にしていただきたい。それがMPPの真髄と考えます。

当会では「MPP」を商標登録して、他団体等から類似品出現を防止しており、私達が商標を大切にして、商標の積極活用を図るのが責務と考えます。皆様如何お考えですか？

茨城県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛け、2019年度第1回公開MPPについては、東京、埼玉支部を含み、計7名にご参加いただきありがとうございます。今回は、前記2支部会員のご協力、ご参加で2チーム編成、少数会員の当県会、参加者に感謝です。前回類似の報告内容ですが、MPPに更なる魅力を付加したいと考えます。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座（士を削除）→MPP（商標を取得）と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？　皆様、再確認お願いします。

定期的にMPPを開催すると使用ケース探しに苦労します。他支部とケースの相互活用も心掛け、今回は近畿支部のご支援を受け、MPPを実施したので概要を以下に示します。

以上の前置き、以下の詳細をお読みいただきたく、重複を承知して記載です。

1. 開催日：2019年5月25日（土）
   13：30 ～ 17：00（事前の情報交換的説明等、終了後検討会　各15分間）
2. 参加者：2チーム、計7名（県内5名・県外2名）
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：24－022－197
5. ケーステーマ（題名）：大都市近郊にある清酒醸造会社の苦悩
6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
7. ケース選定の理由：MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦労する。
   未選定ケース払底の状態であり、今回は支部間交流（活用）を目指した。
   お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。
8. チーム編成と会員外（今回は0）参加者について：
   1）計7名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
      6名／チーム　では多過ぎ、4 ～ 5名／チーム　は活発な討議になる。
      3名／チーム　でもMPPは開催可能である。他支部等でも試みては如何か？
      活発な討議結果を示す克明に記載のボード（写真）をご参照いただきたい。
      当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
   2）終了後、懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い、相互理解を深めている。
      今回は身近なテーマ、現実的な対話や感想に及び、情報交換は有意義である。
      次回等に開催の新ケース作成の参考になったと思えるのは収穫である。

3) 日刊工業新聞社　今回も遣り繰り不可だったが、茨城支局等にも働き掛けている。

9. 参加者の感想等：

1) 事業を冷静に観察するとじり貧とも言える状態であり、事業継続の可否を検討するのが適切と考える。赤字解消できないなら、廃業を含め事業の抜本的見直しが必要と考えるが、如何だろうか。冷静な分析と冷静な判断が必要だろう。

2) ケース前段に「大都市近郊の人口６万人の商工会での出来事」という導入部があり、セミナー参加者であり、相談者の姿を説明した部分があるが、これはある意味事業の実態を示すもので、事業継続に触れたくないことの表れかとも推測できる。
地方の清酒製造業の苦しい実態かなとも推測、抜本的見直しのときかとも考える。
きついが、「廃業したらどうか・・・」の助言を求めているのかも知れない。

3) 事業継続を勧め（進め）て傷を深くするよりも、傷の浅い内に転廃業するのも方法かなと考えるが如何だろうか。ここは冷静な検討と判断が必要だろう。

4) 設問に「経営の高度化」とあるが、「高度化」とは何だろうか。
「考え方を変えよう」「PCを活用しよう」「設備を改善しよう」等、すべてが当てはまるようにも考える。所謂「どうしようもない」経営をしているのかな・・・等を想像する。前近代的経営からの脱却かなとも想像するが・・・如何だろうか。
MPPとは想像力発揮の興味の尽きない場でもある。

5) 売掛金回収程度を面倒に思うような相談者と付き合うのは大変だろう・・・そんな思いがする。商品のリニューアル、少しの設備更新や改善等も要だろう。
まずは自己変革が必要なことを理解してもらうことから始める必要がありそうだ。

6) 商売をしている方々の「やる気」を起こしてもらうのが先決かなと考える。

7) 今回も記載だが、2チーム構成、3支部に及び、各支部の特徴が出てよかった。
MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。
リーダーの資質（基本的技量）の向上にも、参加者全員で取り組みたい。

MPPは企業経営に役立つとの感触を得ており、敢えて従来同様を重複記載します。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

（茨城県会　MPP　写真提供　橋本 琢磨会員、お世話係　塚本 裕宥）

（発表会の様子）

（MPPご参加の皆様）

支部活動報告

千葉支部 活動報告

千葉支部

第64回 千葉支部定時報告会　開催　(5月25日　船橋中央公民館)

松本会員の司会により、山田支部長が議事長に選出され、鈴木副支部長から事業報告、関口会員の収支報告、鶴岡監事の監査報告で、平成30年度に関する審議事項は決議されました。次に、山田支部長から平成31年度の活動方針、支部運営方針、鈴木副支部長から会議・研修計画について、関口会員の収支予算(案)が報告され、承認されました。

5名の新しい会員が支部に入会し、鈴木副支部長により、オリエンテーション【テーマ：プロのコンサルタントになるための心得】が行われ、終了後、親睦会となりました。

(定時報告会の様子)

(オリエンテーショの様子)

中小企業3Cの会　4月度開催報告　(4月27日　船橋中央公民館)

テーマ：都市型スーパーの現状と課題、講　師：宮川　誠一会員

食品スーパーの店頭風景、変わる社会環境、売上トレンドの変化と企業DNA、売上具体策の実際、情報革命の影響についてのお話でした。お客様のニーズ、社会環境の変化が小売・流通を変えてきており、わくわく楽しい買い物ができるように、お客様の選択の幅をひろめ、食材を主役に、売り場を工夫して、客数、客単価の増大を目指しているとのことです。食品スーパーで販売する食材を使ったメニューが、飲食スペースで提供される、「グローサラント」と呼ばれる新形態が日本でも見られるようになってきており、食品スーパーの現状と課題から見える今後のあり方等、興味深い内容でした。

※7月27日の3Cの会は、「外国人労働者について」、公益社団法人 経営・労働協会 代表理事 高山 泰様(元東京入国管理局長)のお話があります。

「足活健康経営における共同研究」について

千葉支部では、地元企業での健康経営の取り組みの支援の一環として、健康経営アドバイザーの資格取得などの活動を活発に行っております。「健康診断」が社員の健康状態を知るうえで確かではありますが、毎月の受診によっての、日々の管理努力までは、一般企業ではなかなかできないのが実態です。千葉支部の賛助会員にフットケアの会社((株)なゆた　代表：大岩久恵)があり、社員の健康状態を容易に把握できるフットケアを、日常の健康経営の手段として用いることの有用性を検証する活動を協力して行うこととなりました。詳細については、次号で報告をします。

7月27日(土)、8月31日(土)、9月28日(土)、10月26日(土)、11月30日(土)、船橋中央公民館で共同研究は14時30分から、3Cの会は15時からです。

問い合わせ先等については、山田一　enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

(金子 昌夫 記)

支部活動報告

2019年度埼玉支部報告会について

埼玉支部

2019年5月6日、2019年度埼玉支部通常報告会を開催しました(参加者15名)。

[2018年度活動報告]

2018年度は、改革の年度でした。恐らく少子高齢化の影響と思われますが、3、4年前から会員数の減少と、月例会の参加人数が減少する傾向が止まらなくなりました。3年前から対策を協議、対応しましたが改善されず、平成30年度は次の思い切った改革をすることにしました。

①月例会を廃止し、年4回開催とする。

②東京支部との連携を模索する。8月に埼玉支部・東京支部合同会議を開催した。

③中日本ブロック会議に積極的に参加する。鈴木和男中日本ブロック担当理事の指導力の基、同ブロック4支部を対象に行事を行うことにより参加者数をアップすることを図る。

下表のように参加人数増加の傾向が見られるので、今のところ効果は出ていると考えます。

開催日	行事名	主催	参加人数	(同前回)
7月21日	新入会員報告会	埼玉支部	12名	7名
10月13日	MPP	中日本ブロック	17名	8名
2月 3日	全国研論文発表会 in 中日本ブロック	中日本ブロック	27名	9名
4月13日	MPP	中日本ブロック	14名	8名

＜その他＞

①環境経営研究会が主導しポリテクセンター埼玉支部の生産性向上支援訓練実施機関になることができました。40件近い引合いに対して3件受注できました。

②対外活動：引続き埼玉産業人クラブに加入し、同理事会の理事を務めました。

③対外活動：支部として、さいたま商工会議所、越谷商工会議所の会員となっています。

④研究会活動：アーリーバードクラブ、環境経営研究会、ビジネスモデル・キャンバス研究会

⑤会員意見：5年後を見据え、ニーズに対応し、会員へのメリット提供をお願いしたい、等。

[2019年度事業計画]

昨年度とほぼ同じように定例会を実施予定です。

①2019年 7月：新入会員発表会

②2019年10月：MPP

③2020年 1月：未定(全国研論文発表会 in 中日本ブロックを検討中)

④2020年 4月：MPP

本部・中日本ブロック共催の第50期経営士養成講座の主管支部として、協力します。

(文責：小西 洋三)

(2019年度埼玉支部通常報告会の風景)

支部活動報告

南関東支部活動報告

南関東支部

南関東支部長　戸部 廣康

[Ⅰ] 令和元年度KIP会(神奈川産業振興センター)総会・講演会・懇親会出席の件

横浜市・関内で6月4日(火)神奈川中小企業センタービルにおいて開催された、KIP会に出席したので、ご報告する。

1. 総会については、平成30年度の事業報告書と収支決算書、令和元年度の事業計画書と収支予算書について、発表・討論し、承認された。

2. 講演会は、神奈川県知事・黒岩佑治氏による講演であり、黒岩知事が以前より主張して来た「未病」は、将に国連が提唱するSDGs活動に非常にマッチしたものであり、神奈川県としても積極的に取り組んで行くことを強調しておられた。今回、「SDGs研究会」を発足させた南関東支部・神奈川経営支援センターとしても、力強い限りである。又、川崎の再生医療特区(京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区)では、新たな技術が開発されており、将来希望が持てる分野である事も強調しておられた。

当日配布された「かながわ中小企業のためのSDGsガイドブック」によれば、

1)なぜ中小企業がSDGsに取り組む必要があるのか、の質問に対して以下の5つの答えを用意し、記載している。

①中小企業は、SDGsの実施・達成のキープレイヤーである。
②SDGs市場は大きく、中小企業にとってもビジネスチャンスである。
③SDGsを取り入れているかどうかが「会社選び」の基準になる。
④SDGsに取り組むことで、企業イメージのアップ、従業員の確保や「やりがい」につながる例が報告されている。
⑤SDGsは企業の「これから」を考える指針になる。

2)更に、自社が活用できるSDGsを見つける方法として、具体的に5つのステップを以下のように示している。

①SDGsを理解する。
②優先課題を決定する。例えば自社のバリューチェインを見直し、SDGsのゴールやターゲットへ落とし込み、優先課題を見つける。
③目標を設定する。
④経営へ反映する。
⑤PRやコミュニケーションを行う。

神奈川県は先頭を切ってSDGsに積極的に取り組み、県下の中小企業を巻き込みながら、県内の経済発展をめざしている事を、実感した。

3. 懇親会

懇親会にも参加し、県内の中小企業経営者や社員と懇談した。社員の中には、アジア(ベトナム、中国等)から、日本企業に就職している方が多く、外国人材の登用が着実に進んでいると感じた。

(KIP総会：黒岩県知事の講演会)

［Ⅱ］南関東支部総会で承認された健康経営、SDGs関連の新規事業計画の件

令和元年6月7日（金）横浜のかながわ県民センターで令和元年度の南関東支部総会が開催され、以下の事業計画が報告され、承認された。

1. 山梨経営支援センター長・廣瀬経営士の発表

山梨センターでは「健康経営」を、中小企業支援の為に積極的に展開して行っていくことが報告され、承認された。

2. 神奈川経営支援センター長・戸部の発表

支部として、SDGs活動を「新たな社会トレンド」として位置付けし、活動を行っていくことを報告し、承認された。当面、神奈川センターに設置された「SDGs研究会」を中心に活動を発展させ、①SDGsの理解、②神奈川県や県内都市の行政機関との連携、③県内企業との連携を進める方向で展開する事を確認した。

今年度以降、産能大卒業生が日本経営士会へ、環境経営士・経営士補・経営士として入会戴いた時には、SDGs研究会に参加戴く事に限らず、新たな研究会（AI、ロボット研究会等）のリーダーや担い手になる事が期待されるとの発言が有った。

3. SDGsに関するフリーディスカッション

支部総会の最後に、SDGs研究会事務局長・小池経営士、及び同研究会代表・増田氏から発言・発表が有り、現状分析及び研究会の方向について討論が行われた。特に支部全体で情報交換を積極的に行っていくことが確認された。

近日中に、静岡経営支援センター長に増田氏が就任するので、静岡県でもSDGs活動が積極的に展開されると思われる。

尚、神奈川センターのSDGs 研究会活動に関心のある他支部の経営士・経営士補・環境経営士の方は、

keieishikanagawa@gmail.com

にご連絡をいただければ、メルマガを配信致しますので、宜しくお願い致します。

ご連絡をお待ちしております。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

支部活動報告

日本経営士会中部支部　研究会報告

中部支部

報告者　今枝 健治

1. ●日　時：令和元年5月19日（日）　9時30分～ 11時30分
   ●場　所：名古屋芸術創造センター　5階　【講師：梅本泰則】
   ●研究会：121研究会「分かりやすいセミナーコンテンツの作り方」

経営コンサルタントとしての活動を始めて以来、約100回のセミナー講師を務めた経験を踏まえながら、分かりやすいセミナーコンテンツの作り方のお話をいただきました。

★分かりやすいセミナーのポイントは、構成、スライド、話し方、リハーサルの4つ。

1）セミナーの構成は、①本日の伝えたいこと、②自己紹介、③問題提起、④具体的解決方法、⑤本日のまとめ、の順にする。

2）スライドの作り方は、①セミナータイトルの付け方、②スライドの文字数、行間、色使い、フォント、③分かりやすいグラフ・図表、④写真・動画の使い方、に留意。

3）失敗例：梅本講師が行ったセミナー資料を公開し、「分かりにくさ」となっているポイントを参加者と一緒に検討。

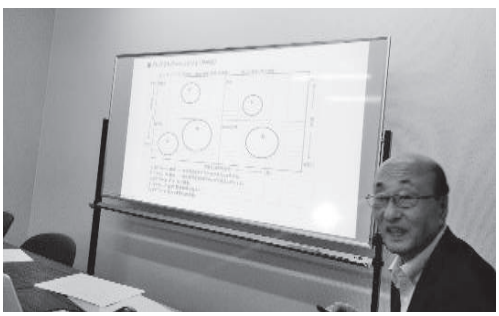
4）伝わる話し方をするには、ノイズ、間、目を見ることがポイントで、何回もリハーサルを行うこと。

2. ●日　時：令和元年5月19日（日）　12時30分～ 14時30分
   ●場　所：名古屋芸術創造センター　5階　【講師：近藤守邦】
   ●研究会：コンサルティング研究会「中小零細企業の経営診断に“知っておくと便利な知識”」

近藤講師は、大手電機メーカーでの経験を活かし、中小企業診断士として、中小企業の経営戦略・経営計画の策定支援、経営改善支援を実践されています。その際に必要な知識を解説していただきました。

1. **ヒヤリング（対経営者）の心構えと姿勢**：謙虚なコンサルティング心がけ、経営者と一緒に経営問題や課題を検討する姿勢や雰囲気を醸成する。
2. **企業経営とは**：人・物・金・情報等『経営資源』を有効・適切に駆使し、付加価値を創造し、活力ある組織体として存続価値を確立すること。
3. **管理の基本**：担当者はPDCA思考、管理者はCheck, Advice, Help, Follow up思考で業務をまわす。
4. **限界利益経営**：損益分岐点の重要性と考え方の説明、キャッシュフロー計算書の説明。
5. **事業戦略**：3C分析の戦略展開、5つの戦略要素、マーケティング戦略、SWOT分析の要点の説明
6. **黒字化への最短コース**：管理のタイプ、先行管理の目的、四半期業績先行管理についての説明。
7. **計数計画策定**：経営改善計画に求められるのは事業構築力。PL・CF・BSを三位一体で考えること。

（梅本講師の講義模様）


（近藤講師の講義模様）

支部活動報告

中部支部　報告会及び講演会

中部支部

●日時：令和元年5月26日（日）
●場所：名古屋芸術創造センター　5階

第1部　平成30年度・中部支部事業報告及び中部支部決算報告　【梅本泰則　支部長】

梅本支部長より、平成30年度の中部支部事業報告並びに中部支部決算報告がなされ、議事はすべて承認されました。

中部支部東海地区では平成30年度は10の研究会を合計33回実施し、北陸地区富山県経営支援センターでは年間9回の研究会を実施、石川県経営支援センターでは年間12回の研究会を実施。また、公益事業として、「ナゴヤメッセ2018」に出展、無料経営相談及び経営士補養成講座のPRを積極的に努めました。そして、会員協力のもと、中部支部として初めて経営士補養成講座を開催できたのは特筆事項です。

令和元年度・中部支部事業計画（案）及び中部支部収支予算（案）【梅本泰則　支部長】

続いて、梅本支部長より令和元年度の事業計画及び収支予算が提案され、すべて承認されました。事業計画概要は以下の通りです。

①「メッセナゴヤ2019」の異業種交流会の出展の参画。②経営士補養成講座及び環境経営士養成講座の実施。③環境経営士フォローアップセミナーの開催。④支部研究会の開催。⑤エコステージ事業の推進。⑥北陸地区の経営支援センターの活動活性化の推進。

第2部　講演　テーマ：時流の話　【講演者】 加藤健二　副会長

日本の世界的発明、海馬の活性化、CVSのおにぎりの消費、販売方法等、しるし書店、大人の習い事、オタク市場、IR法とマカオ、ひとり助け、SSBCなど、豊富な話題と具体例を挙げ、キーワードとともに最先端のトレンディなお話をしていただきました。

第3部　特別講演「コンサルタントに必要な伝わる声の出し方」　【講演者】 奥村まみ子

話し声トレーナー奥村先生より、講義とボイストレーニングをしていただきました。話し方のポイント、笑顔の作り方の指導も頂き、「声」からの印象力、説得力が増して、今後の活動に役立てられることでしょう。

第4部　懇親会　「魚屋の台所　三代目ふらり寿司」にて、中部支部懇親会を開催しました。

（中部支部　今枝 健治）

（講義中の加藤副会長）

（講義中の奥村先生）

（懇親会参加者）

四国支部活動報告

四国支部

四国支部事務局

■ 四国支部令和元年5月例会及び女性経営士の会

令和元年5月7日17時30分より改元後初となる女性経営士の会及び、19時から四国支部定例会を行なった。今回の会場はタリーズコーヒー高松サンシャイン通店ラウンジ会議室を利用した。プロジェクターを利用する際もスクリーンではなく、大型モニターが設置されており、2～30名の会議には最適の空間であった。

まずは女性経営士の会からで、6月24日に山本会員が香川銀行で経営士会としてのセミナーを開催することになり、その報告が行なわれた。「採用・定着･育成のためのコーチング」ということで、業界で人材がなかなか集まらないとか、次世代リーダーや右腕となる人材が育たないなどの悩みを持った企業の方を対象に行なうとのことである。四国支部女性経営士の会としても外部での活動は初めての試みとなるので今後の展開への橋頭堡としたいところである。

続いて19時より四国支部定例会を開催した。今回は宮本会員による小規模事業者持続化補助金についての講義であった。小規模事業主が事業を持続していく、さらには市場に攻勢を掛けるときにおいて大変役に立つ補助金である。ただし、事業計画書や申請書においていかに企業のPRを限られた枠内で表現するのかなどのコツや、企業の戦略を補助金の核心にいかにマッチングさせるかなど､補助金を薦めるに当たってのポイントなどを経験を元に､丁寧に解説してもらった。参加会員のクライアントも中小零細企業が中心であり、特に補助金、助成金などの相談も多いので大変参考になった。

（補助金の解説に真剣に聞き入る各会員）

■ 第3回経営支援団体交流会

四国支部では6月9日（日）午後1時より高松市内中心部IKODE高松大会議室において第3回経営支援団体交流会を開催しました。本来は4月の計画であったが、統一地方選挙などと日程が重なったため、例年と違って6月の開催となった。今回で3回目を数えるこの企画は、経営支援団体として中小企業診断士協会とITC（ITコーディネーター）と日本経営士会、その他金融関係者、税理士等各種士業の方々を一同に集めて年1回各団体持ち回りで勉強会を行おうと始めたもので

す。一昨年は中小企業診断士協会主催でワールドカフェ方式にて行ない、昨年は経営士会主催でMPPを行いましたが、今年はITC側が主催ということで、7チーム編成によるケーススタディーを行ないました。昨年は運営側で参加しましたが、7チームとなると発表の時間も考えないといけないのでタイムキーパーの役割がポイントになります。人員構成は43名中、19名が経営士会で占めました。昨年参加していただいて、面白い企画なので是非今年もということで中国支部や近畿支部、四国支部からは高知や徳島からもお越し頂き、昨年に続いて存在感は示せたと思います。

各団体とも毎年定例となってきたので開会前も色々と情報交換なども行なわれた。時間となり、最初にITCの中庭氏から挨拶があり、続いて経営士会、中小企業診断士協会、税理士会と続いて挨拶が終わり、早速ケーススタディーへと入った。今回のケースは地方の水産加工会社の課題、業務及びシステムの現状などをチームごとにSWOT分析を取り入れながら進めていった。様々な意見が出る中で、経営士会の各会員はMPPの経験も豊富なのでポイントを就いた受け答えができていた。いつもと違うメンバーでの討議なので新鮮で、経営士とはまた違った立場や視線での意見は大変参考になった。

（異業種呉越同舟）

午後5時より各団体を交えた懇親会を開催しました。今年で3回目とはいえ、毎回新しいメンバーも参加することで新鮮な意見に触れることができたり、経営士会のPRができたり、大変有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思う。

（第三回経営支援団体交流会構成員）

支部活動報告

2019年版中小企業白書・小規模企業白書セミナー開催報告

東京支部

今回のセミナーは、6月5日(水)、東京富士大学二上講堂で、中小企業庁事業環境部企画課調査室の江場教智様を講師に招き開催した。主催は中日本ブロック、東京支部が主管し、参加者は45名で、鈴木東京支部長の挨拶で始まった。

2019年版白書では、下記のポイントを中心に令和時代を迎えて「求められる経営者の円滑な世代交代や経済・社会構造の変化に合わせた自己変革」について、豊富な事例を挙げながら分析を行っている。

内閣府の5月の月例報告によれば、日本の景気は輸出や生産の弱さは続いているものの、緩やかに回復している。先行きは、当面弱さが残るものの、雇用・所得環境改善が続き、緩やかな回復が続くことが期待される。但し、通商問題の動向に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策の不確実性に留意が必要である。各部のポイントは次のとおり

第一部　2019年度の中小企業の動向

中小企業の現状を見ると、業況資金繰りは回復傾向にあり、経常利益は最高水準にあって、さらに倒産件数は減少化した。

他方で、設備投資が伸び悩み、製造業、非製造業とも設備が不足している。また、中小企業の取引環境を“交易条件指数”で見ると、1990年代までは、大企業と同水準で推移してきたが、2000年代に入り、両者の差は開いてきた。

これらの課題に向き合い、「設備投資推進、取引条件改善施策」を行うことが重要である。

第二部　経営者の世代交代

高齢者の高齢化を踏まえ、引退する経営者や新たに経営者になる者について、その現状を分析した。

1) 経営者引退の全体像について
- 経営者の高齢化が進み、経営の担い手の数が減少
- 廃業企業からの経営資源の引継ぎについて
- 経営者引退時と、引退後について

2) 日本の起業や事業承継の実態について
- 事業を承継する者が、経営者になるまで
- 起業後に成長を続けていく実態

次に、その課題と対策は、
- 経営資源の散逸を防ぐには、次世代で経営資源を引継ぐ取組みが重要。
- 効果的な後継者教育を行うためには、十分な時間が必要で、早めに準備すること。
- 廃業に当たり、経営資源の引継ぎを周知する。
- 経営者引退に際しては、様々な課題があり、準備期間を長く確保する。

第三部　中小企業、小規模企業の経営者に期待される自己変革

社会が大きく変化する中で、経営者に期待される自己変革や、周囲の関係者との関わりは

1) 人口減少、デジタル化、グローバル化に対して、経営者はどう行動変容するのか
2) 中小企業者の防災の取組は不十分。

次に、その課題と対策は、
- 起業家を増やすには、起業に失敗しても再起しやすい環境や、副業を認めること。
- これからの中小企業に期待される役割

①サプライチェーンを支える役割
②地域の経済を活性化する役割
③地域の生活コミュニティを支える存在
④BCPの策定、BCMの実践、災害・火災保険加入など。

＜小規模企業白書の部＞

第一部　最近の小規模事業者の動向

第二部　引退する経営者やフリーランスや副業として経営者になる者に関しての現状や課題

第三部　自然災害の被災や復旧の状況を分析し、事前対策や実施の課題を提示

最後に参加者から、中小企業対策・施策についての熱心な質問があった。今回、報告は割愛するが、今後の支部支援活動に活かしたい。

セミナーの風景

（東京支部担当幹事　島村 年昭）

2019年開催行事・講 座・セミナー ご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法など
第50期経営士養成講座	6月29日(土)～ 9月8日(日)10日間 9:00～18:00	日本経営士会 本部会議室	募集人員：16名 受 講 料：200,000円	当会HPをご覧下さい。事務局に問い合わせ下さい。
NJK女性経営士の会 セミナー	7月9日(火) 13:30 ～ 17:00	中部大学 東京事務所 (日本橋)	参 加 費：会員 2,000円 一般 5,000円	事務局に問い合わせ下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	7月13日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	7月20日(土)・21(日) 2日間 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第3回定例理事会	7月26日(金) 13:30～16:00	日本経営士会 本部会議室	――	――
NJK女性経営士の会 セミナー	7月28日(日) 13:30～	日本経営士会 本部会議室	Web会議の効果的進め方 受 講 料：2,000円	事務局に問い合わせ下さい。
NJK女性経営士の会	8月31日(土) 13:00～16:00 (ランチ懇談会 12:00～13:00)	新潟県越後湯沢 東映ホテル	2019 woman MPP in 越後湯沢 新潟県会とのコラボ 参 加 費：2,000円 ランチ代：(別途2,500円)	事務局に問い合わせ下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月7日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月21日(土)・22日(日) 2日間 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第53回 経営士全国研究会議	9月14日(土)・15日(日) 2日間	京都タワーホテル	会報誌3・4号／5・6号／7・8月号、当会HPをご覧下さい。	事務局に問い合わせ下さい。
第104回経営士試験	11月3日(日)	日本経営士会 本部会議室他	受 験 料：10,000円	当会HPをご覧下さい。事務局に問い合わせ下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	11月9日(土) 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	11月16日(土)･17日(日) 2日間 10:00～17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第4回定例理事会	12月6日(金) 13:30～14:30	日本経営士会 本部会議室	――	――
第2回理事・支部長会	12月6日(金) 15:00～17:00	日本経営士会 本部会議室	――	――
第5回定例理事会	3月13日(金) 13:30～16:00	日本経営士会 本部会議室	――	――

■『e-ラーニング講座』を3月よりスタートしています。講座をご受講され、スキルアップにご活用下さい。
詳細はホームページをご覧いただくか、又は本部事務局にご連絡下さい。

支部活動予定／インフォメーション

【北関東支部】
（茨城県会）
＊茨城県会公開MPP
7月27日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会公開MPP
9月28日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
10月19日（土）13：30 ～ 16：30
ひたちなか商工会議所
（栃木県会）
＊例会（MPP事例研究）
7月13日（土）13：00 ～ 17：00
鹿沼市民情報センター
（新潟県会）
＊第23回公開MPP
7月13日（土）13：00 ～ 17：00
クロスパルにいがた
終了後別会場にて懇親会
＊MPPケース研究会
8月 3日（土）15：00 ～ 18：00
木村経営コンサルタント事務所
＊第24回公開MPP（NJKコラボMPP）
8月31日（土）13：00 ～ 16：00
（ランチ懇親会12：00 ～ 13：00）
湯沢東映ホテル

【埼玉支部】
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
7月 5日（金）13：30 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室
＊埼玉支部定例会
7月15日（月・祝）13：00 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
8月 2日（金）13：30 ～
武蔵浦和コミュニティセンター 第9集会室
＊環境経営研究会
8月31日（土）13：30 ～
川口市民パートナーステーション

【一木会】
7月4日（木）15：00 ～ 17：00
9月5日（木）15：00 ～ 17：00
10月3日（木）15：00 ～ 17：00
（会場は毎回 ホテルグランドヒル市ヶ谷 2階）

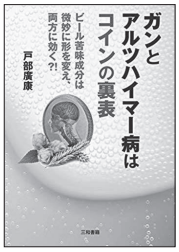
【TAMAマネジメント研究会】
7月27日（土）14：00 ～ 17：00
8月24日（土）14：00 ～ 17：00
9月28日（土）14：00 ～ 17：00
10月26日（土）14：00 ～ 17：00
（会場は毎回 三多摩労働会館）

【中部支部】
＊ECO研究会
「私たちの暮らしと地球温暖化」
7月14日（日） 9：30 ～ 11：30
＊MPP
「中小零細企業の経営診断知識」
7月14日（日）12：30 ～ 15：30
＊養成講座委員会
「経営士補・環境経営士養成講座の運営法検討」
7月28日（日） 9：30 ～ 11：30
＊事例研究会
「経営改善計画“K社の事例”」
7月28日（日）12：30 ～ 14：30
＊会計・財務研究会
「中小企業における終身雇用について」
8月11日（日） 9：30 ～ 11：30
＊経営研究会
「社長と考える後継者像とハッピーリタイアの手法」
8月11日（日）12：30 ～ 14：30
＊幹事会
8月25日（日） 9：30 ～ 11：30
＊ナゴヤメッセ委員会
「メッセナゴヤ2019内容検討」
8月25日（日）12：30 ～ 14：30
（開催場所は名古屋芸術創造センター）

【四国支部】
＊四国支部女性経営士の会
7月17日（水）17：30 ～ 19：00
＊定例会
7月17日（水）19：00 ～ 21：00
（開催場所はタリーズコーヒー 高松サンシャイン通店
ラウンジ会議室）

新書紹介

書籍名：ガンとアルツハイマー病はコインの裏表
―ビール苦味成分は微妙に形を変え、両方に効く―
著　者：戸部 廣康
（会員番号5214）
定　価：2,000円（税別）
発行日：令和元年6月19日
発行所：三和書籍



暑中お見舞い申し上げます

設立５０周年　　１９６９年 資本金１０００万円で設立

株式会社　東洋コンサルタント・グループ

代表取締役会長　**渡　部　喜　政**

１９６３年日本経営士会入会　　２００３年藍綬褒章受章

事務所　〒010-0001

秋田市中通３丁目４番５０号 秋田県農業共済会館４階

ＴＥＬ：018-833-2801　　ＦＡＸ：018-833-2802

＊社会福祉法人専門コンサルティング部門　ＴＥＬ：018-833-2899

PR

暑中お見舞い申し上げます

私達は、一つひとつの出会いやふれあいを大切に、良心に則り、感謝の気持ちを忘れず、人と人・企業と企業の信頼関係を最重視し、地元中小企業の更なる発展に寄与していきたいと願っています。

事業内容

◆ISO 認証取得支援
（品質・環境・食品・労働安全衛生）
◆プライバシーマーク認定取得支援
◆経営診断　◆経営指導　◆事業承継
◆後継者育成　◆中・長期経営計画
◆経営理念・経営方針書策定
◆人材育成・教育　◆セミナー・講演

代表取締役 塚元啓幸

＊経営理念＊

誠実と信頼で、中小企業の
繁栄をお手伝する
経営の総合コンサルタント

＊社　是＊

過去には感謝
現在には信頼
未来には希望

株式会社 四国ビジネスアシスト

〒761-0303　高松市六条町 204-7 塚元ビル 1
TEL:087-840-7370　FAX:087-840-7372
携帯:090-1575－7243　mail:sba-1@crest.ocn.ne.jp

PR

暑中見舞い申し上げます

PR

一般社団法人日本経営士会

花 上 一 雄

『おかげさまで来年50周年の節目を迎える中で、花上グループ全組織は事業継承準備期間を得て7月よりあらたな経営体制に移行します。
経営士会の皆様にはこれまでのご厚情に感謝申し上げます。今後は個人経営士としてあらためて皆様とお付き合いのほどお願い申し上げます。』

花上グループ『社外人事部®』
★社会保険労務士法人 閃 光 舎
併設団体 中小企業経営協力会
★人事情報システム株式会社
★オフィスサポート株式会社

TEL:045-360-5560　FAX:045-360-5561
■E-mail : hanaue@hanaue.co.jp
■URL : www.senkousha.or.jp
〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 2-5-13

素焼きアーモンドを 毎日の食卓に取り入れてみませんか?

PR

アーモンドは、エイジングケアに欠かせないビタミンEが豊富です。食物繊維がレタスの約9倍も含まれており、毎日食べ続けることでカラダの中から健康になるスーパーフードなのです。

食べ切りサイズ15gを**100袋以上から1袋あたり税抜90円にて**配送いたします。400袋以上のご注文は1袋あたり税抜70円に勉強させて頂きます。どちらも送料込みのお値段となります。賞味期限は210日です。ご注文お待ちしております!

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）

バーニングスピリッツ Burning Spirits!

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛
携帯電話:090-2733-0185
メール:tsakai@burningspirits2017.com

経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大

国家資格キャリアコンサルタント

に挑戦！ は、いまがチャンス！

国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】
http://careerjp.work/cc1/

【経営士向け → 3大特典】

- **受講料が最も廉価**:他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
- **合格サポート制度:「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！:通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！**
- **貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈**:通常入手できない当校オリジナル版。

説明会随時開催！

一般社団法人
地域連携プラットフォーム
TEL:048-476-4600
FAX:048-476-4607
E-mail:info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事　**柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

暑中お見舞い申し上げます

多くの人々が夢と希望を実現するために NJK は活動を続けます!!

<これからの活動>

7/9	外部セミナー　中部大学東京事務所
7/28	Web会議の効果的進めかた 経営士会本部会議室
8/3	2019 woman MPP in 越後湯沢 越後湯沢東映ホテル
9/14	全国研2次会にて女性会員ネットワーク支援 京都タワーホテル
10/27	東京ウィメンズプラザフォーラムに参加『好きを仕事にする』をテーマに講演とシンポジウムを行います

一般社団法人日本経営士会
女性経営士の会 NJK 委員一同

PR

暑中お見舞い申し上げます

経済の変化をリードするJMA エグゼクティヴな経営人のための協会

一期一会・一会一生・経営人の情報ステーション・共生する經友協會

JMA 日本經友協會

会長 淺見 正義

第1条　本会は日本経友協会と称し、本会を大阪市内に置く。

第2条　本会の趣旨、目的に賛同する国際的視野と見聞を持った経営者、学識ある経営人及び人格ある団体をもって構成する。

第3条　本会は世界の動向が激動する国際経済環境の下、経営人及び企業人の産業、経済、社会の諸問題に関して、総合的な調査、研究を行い、経営人、産業人としての知識向上と国際社会並びに国家の発展に寄与することを目的とする。

ミスター　YEN

最高検察庁（元）検事総長

千虚、一実に如かず

（JMA）日本経友協会　研修特別顧問

（JPIFA）日本パラオ国際友好協会　研修特別顧問

弁護士　**土肥孝治**先生

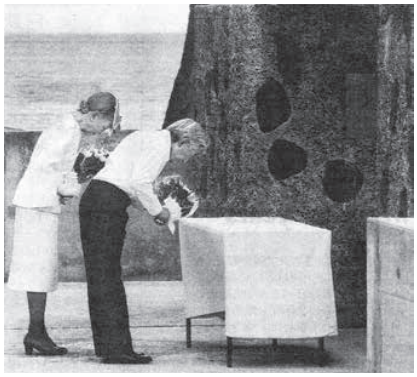
大阪地方検察庁特捜部副部長、
以後総務部長、公安部長、特別捜査部長、次席検事を歴任
最高検察庁検事
奈良地方検察庁検事正　　大阪高等検察庁検事長
神戸地方検察庁検事正　　東京高等検察庁検事長
大阪地方検察庁検事正　　検事総長
次長検事

「日本経友協会」の研修会

2014年10月1日 パラオ共和国独立20周年記念
2015年4月9日
天皇皇后両陛下 ペリリュー島慰霊の旅

両陛下、パラオへ
戦後70年、戦没者を慰霊

両陛下、激戦地で追悼
ペリリュー島　日米慰霊碑に献花



1994年10月2日　パラオ共和国独立記念
日・パ合同追悼慰霊祭

廣橋興光名誉理事長　クニオ・ナカムラ第5代大統領　淺見正義会長
元皇族

2019.10.1　独立25周年・日本パラオ国際友好協会設立31年

クニオ・ナカムラ大統領

（故）林田悠紀夫名誉会長
（元参議院議員）

トミー・レメンゲサウ大統領

廣橋興光名誉理事長

JPIFA

安西愛子名誉会長（元参議院議員）「平成29年8月物故」

ジラトケール・エピソン大統領

（故）湯川スミ名誉会長
（ノーベル物理学賞受賞
故湯川秀樹博士ご令室）

ジョンソン・トリビオン大統領
ケライ・マリウール副大統領

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management